

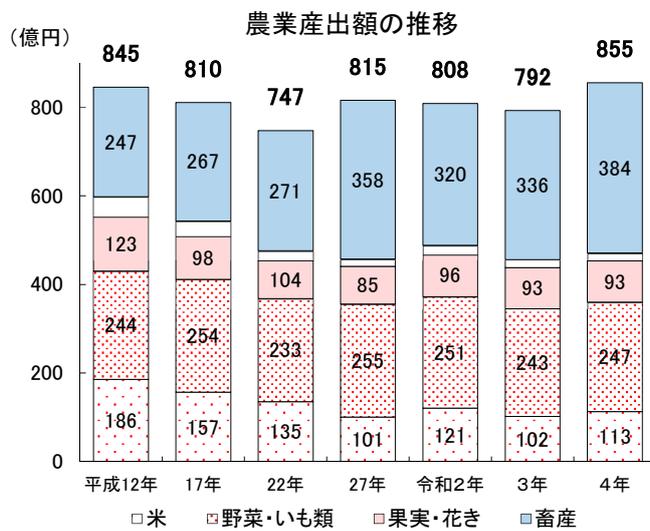
2. 農業経済の動向

① 農業生産

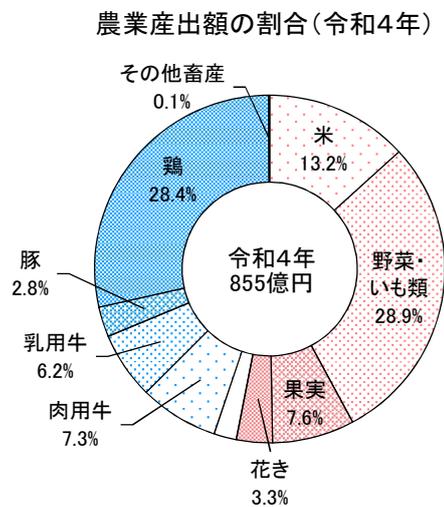
農業産出額は、品目ごとの生産量の増減及び販売価格の増減によって変動するが、近年は横ばいの傾向にあった。令和4年は、主に販売価格の上昇の影響により、農業産出額は855億円で、前年(792億円)に比べ63億円増加した。部門別に見ると、耕種(米・野菜・果実・花き等)は471億円で、前年に比べ16億円増加し、畜産は384億円で48億円増加した。

《平成19年からの主な変更点》

- ※1 推計単位を市町村から都道府県に変更したため、市町村間で取引された中間生産物については計上されない。
- ※2 水田・畑作経営所得安定対策の導入により、これまで麦類、大豆の産出額に含まれていた交付金の一部が、過去の生産実績に対する交付金として経営体に一括して交付されることとなったため、当該作物の産出額として計上されていない。



資料:農林水産省「生産農業所得統計」
 (注) 耕種の一部の数値を表示せず、空白としているため、項目ごとの金額の計と全体額は一致しない。

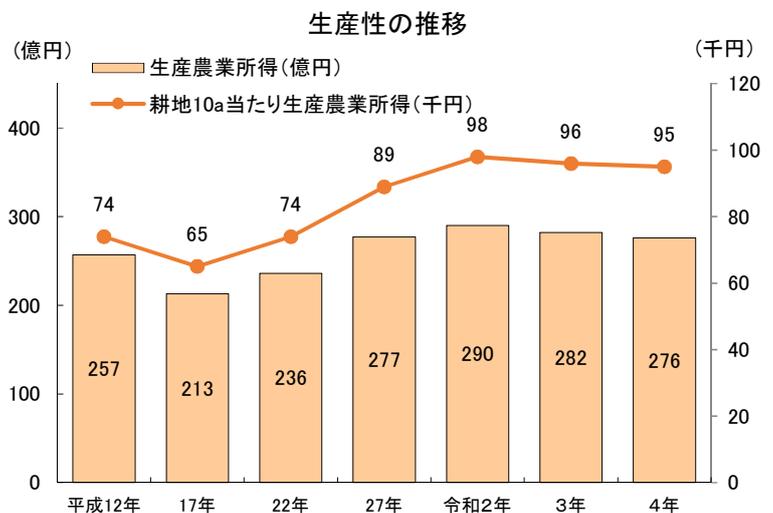


資料:農林水産省「生産農業所得統計」
 (注) 耕種の一部の数値を表示せず、空白としている。

② 生産性

令和4年の生産農業所得は276億円となっており、前年(282億円)に比べ6億円減少した。

生産農業所得を耕地10a当たりで見ると95千円となり、前年に比べ1千円減少した。



資料:農林水産省「生産農業所得統計」